

第 8 期後期(令和 5 年度)彦根市高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画の進捗評価について

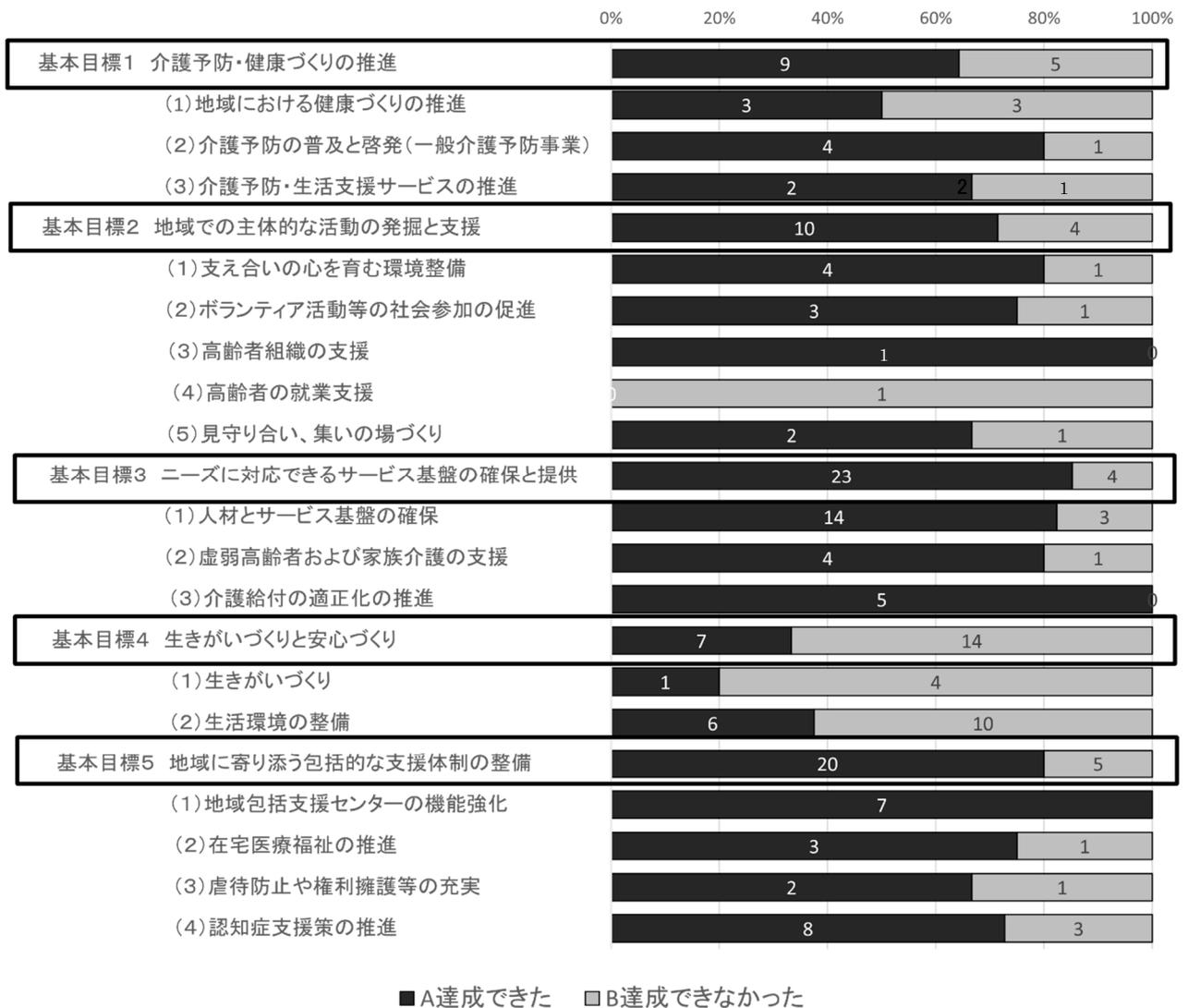
令和 6 年 8 月 8 日(木) 彦根市高齢者保健福祉協議会

1. 事業・取組の自己評価結果

第8期計画の令和5年度における事業・取組に関して、その実施内容（成果）、達成度、達成できた場合の要因もしくは達成できなかった場合の問題点・課題、今後の方向性について主担当課において自己評価した結果をとりまとめると、資料1-1のとおりです。

このうち達成状況（A：達成できた、B：達成できなかった）を集計すると次のグラフのとおりで、達成できた事業・取組の割合は、「基本目標1 介護予防・健康づくりの推進」で64%、「基本目標2 地域での主体的な活動の発掘と支援」で71%、「基本目標3 ニーズに対応できるサービス基盤の確保と提供」で85%、「基本目標4 生きがいつくりと安心づくり」で33%、「基本目標5 地域に寄り添う包括的な支援体制の整備」で80%となりました。全体では達成率69%（令和4年度（2022年度）達成率71%）でした。（複数の主担当課が評価している場合もそれぞれ計上しています）。

事業・取組の達成状況



2. 基本目標ごとの達成状況と課題

①「基本目標1 介護予防・健康づくりの推進」の達成状況と課題

14事業・取組の中で、9事業・取組が達成できた一方、5事業・取組が達成できなかったと評価しています。(令和4年度 達成8事業、未達成6事業)

「(1) 地域における健康づくりの推進」では、達成と評価した事業・取組が6項目中3項目でした。健康診査などの周知について、令和5年度は過去最高だった令和元年度の受診率を上回る見込みとなっているものの、目標値の達成までには至りませんでした。

「(2) 介護予防の普及と啓発(一般介護予防事業)」では、地域介護予防活動支援事業が目標値未達成となったものの、地域包括支援センターの認知度上昇や高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施が開始から3年を経過したことなどから多くの活動を実施できました。

今後も、第9期計画において、高齢者が地域で暮らし続けることができるよう関係機関と連携し、地域における健康づくり、市民主体の介護予防・生活支援の取組を推進することとします。

②「基本目標2 地域での主体的な活動の発掘と支援」の達成状況と課題

14事業・取組の中で、10事業・取組が達成できた一方、4事業・取組が達成できなかったと評価しています。(令和4年度 達成13事業、未達成2事業)

「(1) 支え合いの心を育む環境整備」「(2) ボランティア活動等の社会参加の促進」では、民生委員の活動支援など、目標値を達成できなかった項目はあるものの活動件数は増加しており、他の事業・取組においてもコロナで停止していた活動の再開がみられます。

「(5) 見守り合い、集いの場づくり」については、宅老所の新規開設には至らなかったものの、その他の項目は概ね達成できていると自己評価しており、地域における生活支援体制の整備を進められていると考えています。

今後も、地域共生社会の実現へ向けてこれらの事業・取組を継続するとともに、地域住民が主体となる地域での支え合いの体制づくりを支援することとします。

③「基本目標3 ニーズに対応できるサービス基盤の確保と提供」の達成状況と課題

27事業・取組の中で、23事業・取組が達成できた一方、4事業・取組が達成できなかったと評価しています。(令和4年度 達成22事業、未達成5事業)

「(1) 人材とサービス基盤の確保」では、地域福祉人材確保事業においては目標値を達成できなかったものの、人材確保の取組では、アクティブシニア世代向けの再就職支援として、介護現場で働く同年代の職員にインタビューを行い、介護職や介護現場の魅力発信としてPR動画やパンフレットを作成し、幅広く周知を行いました。

「(2) 虚弱高齢者および家族介護の支援」「(3) 介護給付の適正化の推進」は、介護支援専門員や民生委員などとの連携強化に努めた結果、10事業・取組のうち9事業・取組が達成できたと評価しています。

今後は、引き続き「(1) 人材とサービス基盤の確保」について着実に実現するための方策を検

討すること、また、必要なサービスの確保および質の向上を図っていくことを第9期計画において進めていきます。

④「基本目標4 生きがいづくりと安心づくり」の達成状況と課題

21事業・取組の中で、7事業・取組が達成できた一方、14事業・取組が達成できなかったと評価しています。(令和4年度 達成9事業、未達成12事業)

「(1) 生きがいづくり」では、老人福祉センターの自主事業や公民館の講座は計画どおりに実施されているものの目標値の達成には至りませんでした。また、プロシードアリーナ HIKONEで開催されるスポーツ教室も開館して間もないことから周知不足により目標達成ができなかったと評価しています。

「(2) 生活環境の整備」では、防災体制の整備、防犯・防災知識の普及は達成できたと評価しています。福祉避難所の確保については、目標値の達成はできませんでしたが、令和5年度は福祉避難所開設・運営を想定した訓練を4学区で行うことができました。

第9期計画においても、近年の災害発生状況を踏まえ、関係部局や事業所などと連携して体制整備に努めていくこととしています。

⑤「基本目標5 地域に寄り添う包括的な支援体制の整備」の達成状況と課題

25事業・取組の中で、20事業・取組が達成できた一方、5事業・取組が達成できなかったと評価しています。(令和4年度 達成20事業、未達成5事業)

「(1) 地域包括支援センターの機能強化」では、全7事業・取組について達成できたと評価しています。相談や各会議を通して、地域包括支援センターと地域の関係者との連携を実現し、関係者間のネットワークの構築を進めることができました。

「(4) 認知症施策の推進」では、認知症サポーター養成講座の開催が目標値を達成できませんでしたが、達成率にして98.0%と目標に近い達成率となっており、他の項目においても認知症の啓発、認知症の人を支援するネットワークづくりなど取組が進んでいると評価しています。

第9期計画においても、包括的な支援体制の整備・充実や認知症「共生」「予防」の推進等を重点課題に位置付け、引き続き取組を進めます。